

歴史書に見る鞠智城【鞠智城に関連する記録】

年号(西暦)	記事と内容	歴史書	天皇
645(大化元年)	大化の改新。律令制が確立(改新の勅)。	『日本書紀』	皇極天皇
663(天智2年)	朝鮮半島での白村江の戦いで、唐と新羅の連合軍に大和朝廷軍と百済軍が敗れる。	『日本書紀』	天智天皇(称制)
664(天智3年)	筑紫などに防人と烽を置き、水城を築く。	『日本書紀』	天智天皇(称制)
665(天智4年)	筑紫に大野城・基肄城、長門に長門城を築く。	『日本書紀』	天智天皇(称制)
667(天智6年)	大和に高安城、讃岐に屋島城、対馬に金田城を築く。	『日本書紀』	天智天皇(称制)
698(文武2年)	大宰府をして、大野・基肄・鞠智の三城を繕治する。	『続日本紀』	文武天皇
858(天安2年)	(2月) 菊池城院の兵庫の鼓が自ら鳴る。 (6月) 肥後国菊池城院の兵庫の鼓が自ら鳴る。 (6月) 菊池城の不動倉十一棟が火災にあう。	『文徳実録』	文徳天皇
875(貞観17年)	カラスの群れが菊池郡倉舎の葺草をかみ抜く。	『三代実録』	清和天皇
879(元慶3年)	肥後国菊池城院の兵庫の鼓が自ら鳴る。	『三代実録』	陽成天皇

* 以後、鞠智城は歴史の舞台から姿を消しました。

鞠智城・装飾古墳館へ行ってみよう!



温故創生館

鞠智城が築かれた時代とその役割について、展示と映像で学べる施設です。

2階には、公園全体を眺めながら休憩できるスペースもあります。

開館時間 / 9:30~17:15
(入館は16:45まで)

休館日 / 月曜日
(但し、祝祭日の場合は翌日)
12月25日~1月4日

入館料 / 無料

※ボランティアによる解説もあります。
(要予約 無料)

●お問い合わせ 〒861-0425 熊本県山鹿市菊鹿町米原443-1 TEL 0968-48-3178 FAX 0968-48-3697
HP <http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/onkosouseikan/> E-mail onnkosousei@pref.kumamoto.lg.jp



国史跡

鞠智城

きくち じょう



熊本県立装飾古墳館分館 歴史公園鞠智城・温故創生館

鞠智城

古代の丘にたたずむと、はるか悠久のロマン



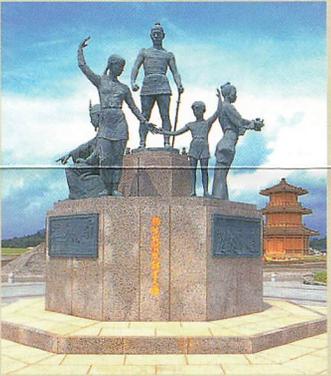
①〈灰塚〉 360° 大パノラマ、
不動岩も見えます。



②〈長者山展望広場休憩所〉
くつろぎの空間です。



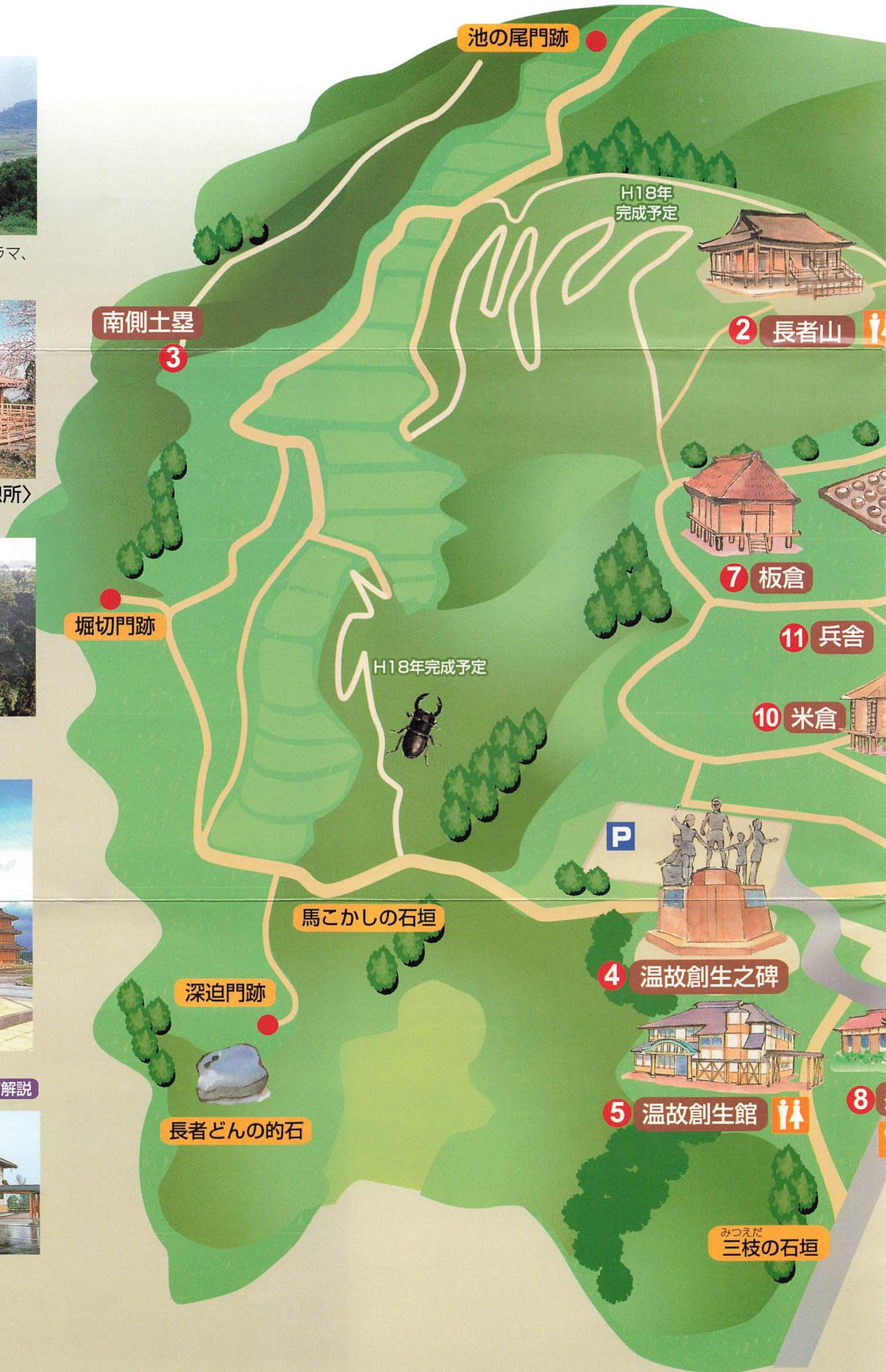
③〈南側土塁〉
城の南側の防衛ラインです。



④〈温故創生之碑〉
鞠智城のシンボルです。音声解説



⑤〈温故創生館〉



がよみがえる。

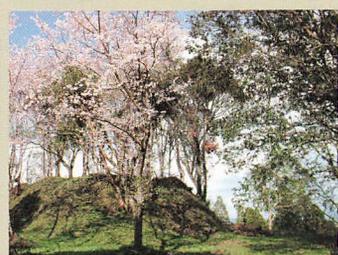
鞠智城



12 <ワクド石>
その名のとおりカエルそっくり！



13 <西側土塁>
城の西縁の防衛ラインです。



14 <涼ヶ御所> のろし台があったと伝えられています。



9 <宮野礎石> 当時の礎石をそのままに展示しています。



長者館



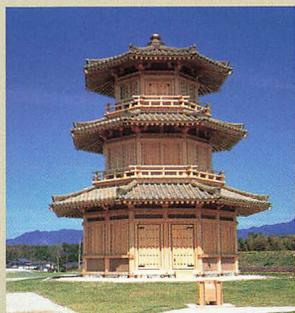
7 <板倉>
武器を保管した倉庫です。



10 <米倉> 校倉造(あぜくらづくり)の食糧庫です。



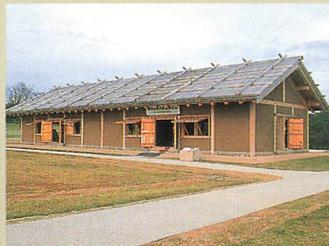
15 <貯水池跡> 木簡や建築用材などの貴重な遺物が数多く見つかっています。



6 <鼓楼(八角建物)>
歴史公園鞠智城のシンボルです。



8 <長者館>
地元の物産品がいっぱい。食事もできます。



11 <兵舎>
防人たちの生活の場です。

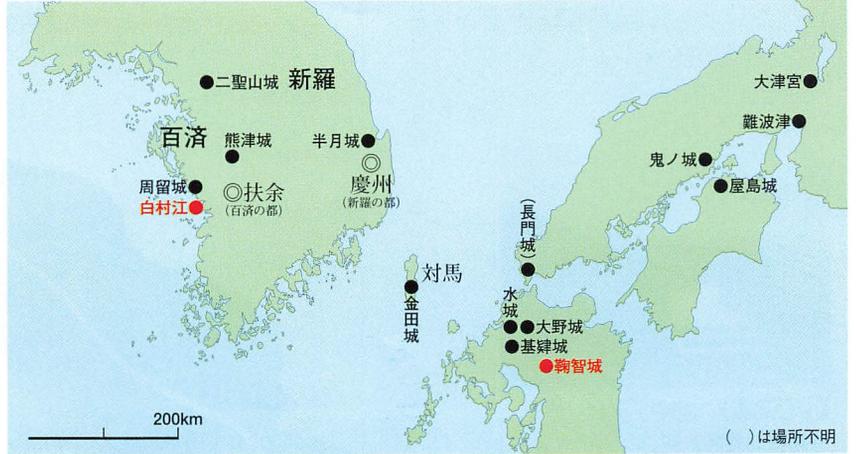


16 <研修施設>
館長講座などを実施しています。

音声解説

なぜ、鞠智城はつくられたのか？

鞠智城は、7世紀後半（約1,300年前）に、大和朝廷が築いた山城です。当時、東アジアの政治的情勢は、非常に緊張していました。日本は、友好国であった百済を復興するため援軍を送りましたが、663年の「白村江の戦い」で、唐と新羅の連合軍に敗北しました。このため、事態は急変し、直接日本が戦いの舞台となる危険が生じました。そこで九州には、大宰府を守るために大野城（福岡県）、基肄城（佐賀県）、金田城（長崎県）が造られました。鞠智城は、これらの城に食糧や武器、兵士などを補給する支援基地でした。



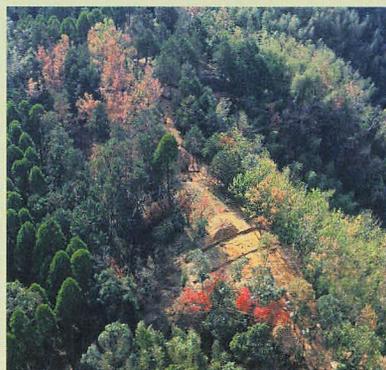
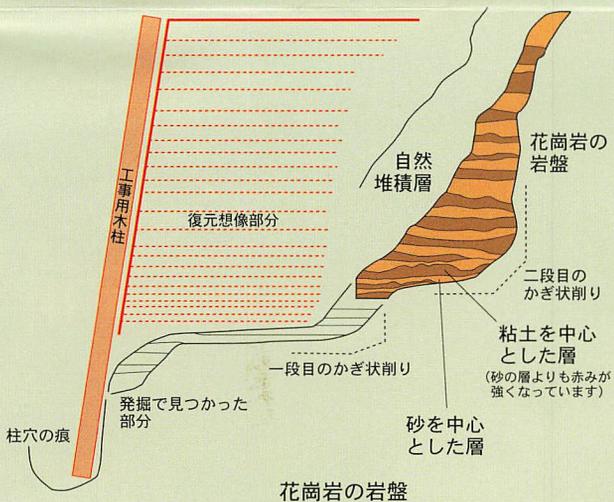
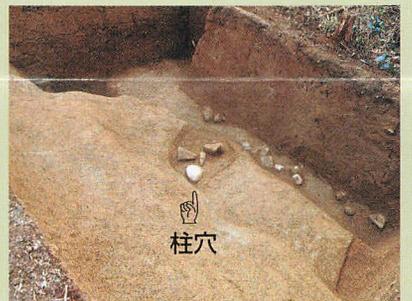
ここまでわかった鞠智城

土塁の構造が明らかに



鞠智城跡の外郭線には、土塁的景観を色濃く残す所が西側と南側に2箇所あります。土塁とは土砂を積み上げて築いた城壁のことです。鞠智城跡の場合、これまで城壁の大部分は自然地形の削り出しにより整形されたと言われてきました。ところが、平成13年度と平成15年度の外郭線の調査で、その見解を覆す成果が上がりました。それが、ここに紹介する土塁です。

版築（はんちく）という大陸伝来の工法で造られています。板で外枠をつくり、その内側に土砂を入れて盛土する工法で、建築物の基壇や築地塀にも採用されました。写真で見ると、鞠智城跡では、山の尾根をかぎ状に切土した後に土質の違う土砂を交互に突き固めており、非常に強固な仕上がりになっています。土塁の裾には、土留めのために石を並べていたことも判明しました。特に、西側土塁線のシャカンドン地区では、枠づくりのための柱穴も見つかりました。



〈西側土塁線 シャカンドン〉
やせ馬状の尾根の外斜面に土塁が築かれています。

鞠智城



鞠智城・装飾古墳館へ行ってみよう!



温故創生館

鞠智城が築かれた時代とその役割について、展示と映像で学べる施設です。
2階には、公園全体を眺めながら休憩できるスペースもあります。

開館時間 / 9:30~17:15
(入館は16:45まで)

休館日 / 月曜日
(但し、祝祭日の場合は翌日)
12月25日~1月4日

入館料 / 無料
※ボランティアによる解説もあります。
(要予約 無料)

●お問い合わせ 〒861-0425 熊本県山鹿市菊鹿町米原443-1 TEL 0968-48-3178 FAX 0968-48-3697
HP <http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/onkosouseikan/> E-mail onnkosousei@pref.kumamoto.lg.jp

* 以後、鞠智城は歴史の舞台から姿を消しました。

年号(西暦)	記事と内容	歴史書	天皇
645(大化元年)	大化の改新。律令制が確立(改新の勅)。	『日本書紀』	皇極天皇
663(天智2年)	朝鮮半島での白村江の戦いで、唐と新羅の連合軍に大和朝廷軍と百済軍が敗れる。	『日本書紀』	天智天皇(称制)
664(天智3年)	筑紫などに防人と烽を置き、水城を築く。	『日本書紀』	天智天皇(称制)
665(天智4年)	筑紫に大野城・基肄城、長門に長門城を築く。	『日本書紀』	天智天皇(称制)
667(天智6年)	大和に高安城、讃岐に屋島城、対馬に金田城を築く。	『日本書紀』	天智天皇(称制)
698(文武2年)	大宰府をして、大野・基肄・鞠智の三城を繕治する。	『続日本紀』	文武天皇
858(天安2年)	(2月) 菊池城院の兵庫の鼓が自ら鳴る。 (6月) 肥後国菊池城院の兵庫の鼓が自ら鳴る。 (6月) 菊池城の不動尊十一棟が火災にあう。	『文徳実録』	文徳天皇
875(貞観17年)	カラスの群れが菊池郡倉舎の葦草をかみ抜く。	『三代実録』	清和天皇
879(元慶3年)	肥後国菊池城院の兵庫の鼓が自ら鳴る。	『三代実録』	陽成天皇

この電子書籍は、国史跡鞠智城 を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版は発掘調査報告等、他の書籍から引用してください。

鞠智城跡の発掘調査報告は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：国史跡鞠智城

発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号

電話： 096-383-1111

URL：<http://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：西暦 2024 年 9 月 15 日